

平成9年度宝くじ助成事業成果概要

業 務 部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

このため、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、河川改修を行う際、河川がもっている治水、利水、生態系、景観性、親水性等の多機能を生かした多自然型川づくりや水辺空間整備が行われている。

このような多自然型川づくりや水辺空間整備の活発な展開を図るため、事業への理解、効果、必要性等の広報活動を通して、河川愛護意識の普及を図っていくことが重要である。

(財)日本宝くじ協会からの助成事業による水辺広報活動は、昭和62年度からスタートし、平成9年度は52,450千円の助成金を受け水辺空間に関する広報と併せて宝くじ事業の公益性に関する一般の方々への理解を深める目的で事業を実施している。

1. アメニティ・リバーフロント施設の設置

水辺空間整備を実施している地区において、アメニティ・リバーフロント施設(うるおいのある水辺空間の向上を図るため記念碑・塔・噴水等の施設)を設置することにより、さらに水辺空間の魅力が増し、地域の人々から親しまれることを狙いとして、次の1箇所に設置した。

杉原川(兵庫県西脇市) あずまや 四阿



杉原川(西脇市)・杉原川河畔四阿

2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、次の6点を作成し、国、地方自治体等に配布した。

「多自然型川づくり～施工と現場の工夫～」のパンフレット作成

川とつながりをもつ歴史・伝承・文化に関連する北海道の主要な川のリバーガイドマップ作成

「人と川とのふれあいを求めて」をキャッチフレーズとしたポスター作成

「清流」をキーワードにしたカレンダー作成

「日本の滝紀行」作成

「RIVER FRONT 10周年記念号」の作成

「魚からみた落差工の配慮事項等」の作成

「川と風土」の作成

平成10年度も昨年度に引き続き宝くじ助成金を受け、水辺空間整備に関する広報活動事業を行う。パンフレット等の作成と水辺施設の設置を実施する計画である。特に水辺施設は、水辺自然環境施設を2箇所、従前からのアメニティ施設1箇所を予定し、水辺自然環境施設は、水辺の自然環境の向上に取り組んでいる地域の主要な箇所に、植物、昆虫類、魚類等生物の生息場所の復元・再生、創出等を行い、水辺の自然環境の一層の向上を目的としている。

なお、水辺施設等の詳細は、業務部におたずねください。